

＜アルゼンチンの仲間と共に＞

こ とく けい こ ポ ソ
古徳景子 & POZO

Marimba Concert

マリンバコンサート

2008. 6月14日(土)

Keiko & Pozo



＜曲目＞

赤とんぼ

トルコマーチ

アルゼンチンタンゴ他

Hay Musica, No Hay Distancia

Open 13:00 Start 13:30

ロゼシアター 小ホール

チケット：前売り 3,000円/当日 3,500円/学生 1,500円

全席自由 ※前売り券完売の場合は当日券はありません（高校生以下、前売り・当日共通）

ロゼ・チケットセンター (0545)60-2500 / FAX(0545)60-2505 (販売日2/15日から)

協賛：ジャパンパーカッションセンター(JPC) 主催：エルスカルマリンバ(080-5442-3617)

後援：アルゼンチン大使館/富士市教育委員会/岳南朝日新聞

お問い合わせ TEL.080-5442-3617 ホームページ <http://kotokukeiko.com/>

Hay Musica , No Hay Distancia !!!

※南米文化への理解を深め、日本から遠く離れたアルゼンチンからの生の声を届ける

プロフィール



Gabriel

Jorge

Keiko

Hector

古徳景子 (コトク・ケイコ)

- ・日本、アメリカ、ベルギー、フランス、スウェーデン、メキシコ、アルゼンチン、オーストラリア各地で演奏活動を行う。日本では教育機関の芸術鑑賞会・平和学習の場において、海外では訪問地の大学や日系人会などで演奏・対話・レクチャーをしている。意欲作・曲名「学GAKU」(祖父が語ったヒロシマ救護体験)を基に平和コンサートを展開中。
- ・東京芸術大学卒業。、ポストン音楽院ディプロマコースを経て、スウェーデン・ピテオ国立音楽大学院首席修了。同大学で後進の指導と演奏活動。ベルギー国際コンクール2位受賞(最年少)。ブラスバンドの巨匠故アルフレッド・リード氏と共演。コンチェルトコンクール優勝(マリンバ優勝はポストン音楽院創立以来の快挙)。ポストン・ファニエルホールにてオーケストラと共演。スウェーデン、グスタフ国王臨席のヨックモック・マーケット祭で、アイスマリンバを演奏。スウェーデン各地国連支部主催の国連加入60周年記念行事で巡回演奏。メキシコ(チャパス、タバスコ)、アルゼンチン(ブエノスアイレス、パタゴニア)打楽器フェスティバルに招聘され、それぞれ大トリで演奏。スタンディングオベーションを受けた。
- ・NHK-FM「名曲リサイタル」・NHK広島「お好みワイド」、国の内外でラジオ中継、テレビ出演、録画、インタビュー、新聞・雑誌の取材他。CDシングル、CDアルバム、DVDをリリース。
- ・マリンバを高橋美智子、神谷百子、Nancy Zeltsman 打楽器を有賀誠門、高田みどり、Anders Åstrand、Daniel Saur 作曲をJohn Farm 各氏に師事

Hector Correa (エクトル・コレア)

ブエノスアイレス生まれ。幼少よりドラムを学ぶ。世界レベルの打楽器奏者Eduardo Gramegnaに師事して修業し、ブエノスアイレスで多数のセミナーを開催した。現在、モロンオーケストラで打楽器部門を指導している。4枚のCDをリリース。世界遺産に登録されているコロシアター(3大オペラハウスの1つ)やアルベルト・ヒナステラ音楽院に所属して演奏活動をしている。

Gabriel Amadeo Vivela (ガブリエル・アマデオ・ビデラ)

ブエノスアイレス生まれ。幼少よりドラムを学ぶ。アルベルト・ヒナステラ音楽院において作曲、ギター、打楽器を修得、首席で卒業。アメリカ、中南米、ヨーロッパの打楽器フェスティバルに招聘され、演奏活動を広げている。現在、ラ・プラータ音楽院で教鞭を執りつつ、モロンオーケストラで指揮を指導。作曲作品はアルゼンチン、ウルグワイ、ブラジル、メキシコ、スイス、デンマーク、ノルウェーで演奏され好評を得ている。天性の美声で、歌唱でも高い評価を受けている。

Jorge Glocer (ホルヘ・グロッセル)

ブエノスアイレス生まれ。幼少よりドラム、チャランゴ(民族楽器)と歌を学ぶ。アルベルト・ヒナステラ音楽院において、打楽器と歌を修得、卒業。同大学院で打楽器フェスティバルを開催し、多数の海外演奏家と交流を図る。今年1月にはチリ打楽器フェスティバルに招聘され、クリニックと演奏を行う。現在はオルケスタ・folkloriaで教鞭を執りつつ執筆活動中。小説を3冊出版し高い評価を受けている。

